

「 The 3rd IWAKI & MEETING ! 」

こんにちは！いわき市保健福祉課・地域共生社会推進係です。

今回は、第3回目の「いわき市地域共生社会推進会議：IWAKI & MEETING」の様子についてご紹介します！

地域共生社会の推進に向け、7月に設置した官民連携の会議。3月19日に開催した第3回会議では、孤独・孤立等の課題へのアプローチとして、(株)ZIAIの櫻井様をゲストにお迎えして傾聴AIの取組みをお聞きしたほか、委員リレートークでは(株)LOCOの小嶋様から情報発信についてお話しいただきました。

また、地域福祉計画の現時点での内容について意見交換をしました。



ゲストスピーチ ▶ (株)ZIAI 代表取締役社長 櫻井 昌佳 氏 悩み相談チャット「傾聴AI」

“声なき声”の『ほりおこし』

- いじめや虐待を誰に相談していいかわからない「こども」
- 話を聞いてもらいたい「若年層」
- 周囲への配慮によってなかなか相談ができない「主婦」
- “自分なんて”と希死念慮に苦しむ「自殺予備軍」
- 自身のことを「ヤングケアラー」と自認していない生徒
- 本当は社会に出たいけど一歩勇気が出ない「ひきこもり」
- 日本語がまだ話せず一人で抱え込みがちな「外国人」...etc



傾聴AIによるチャット相談窓口により相談の受け皿を広げ、

住民の悩みを受け止めて、しかるべき専門窓口へ自動連携します。

① 傾聴AIによる『悩み相談』

- 24時間/365日いつでも匿名で相談可能。
- PC / タブレット / スマホ全てに対応。
- 満足度95%/心理学の標準尺度で効果証明済。
- 多様な相談の種類やリスク度にも適応。



② 行動経済学を活用した『繋ぎ』

- 行動経済学のナッジやトリガーを学習させたAIが対話の中で背中を押して、人間に相談することを促します(特許申請中)。
- 本人が同意して個人情報を入力すると、自治体担当者に通知・支援に入ります。



24時間365日、誰にもバレずに相談できるAIチャットの気軽さを活用し、これまで市町村が対応したくても接点を持てなかった希死念慮者の悩みを早期発見・初期介入。必要に応じて自治体に自動連携することで伴走支援に繋いでおります。

ゲストスピーチ ▶ (株)ZIAI 代表取締役社長 櫻井 昌佳 氏 悩み相談チャット「傾聴AI」

委員からの主な意見

- ✓ 様々な分野で使われる可能性が高い仕組み
- ✓ AIに興味関心がある若い世代を中心にニーズは高い
- ✓ AIが悩みなどに共感して受容してくれるのでいいと思う
- ✓ 自ら相談できない方や意思表示が難しい方が相談しやすいツール
- ✓ すべてAIにお任せではなく、人がしっかり関与すること

委員リレートーク ▶ 小嶋 沙希子 委員 (株)LOCO 代表取締役 **地域と人をつなぐ情報発信**



\蓄積型のSNS/

インスタグラム TikTok



- ✓ 投稿が残る（蓄積する）
- ✓ 検索に強い（探せる）

\流動型のSNS/

スレヅ X(旧Twitter)



- ✓ タイムライン形式
- ✓ 投稿が時間経過で流れる
- ✓ 検索に弱い

ファン化とは？

コアファン

ファン

発信者に興味がある人

フォローしているだけの人



実際にサービスを利用してもらう
ために重要なのは

“ファンの数”

量より質が大事！



委員リレートーク ▶ 小嶋 沙希子 委員 (株)LOCO 代表取締役 **地域と人をつなぐ情報発信**

◀ **委員からの主な意見** ▶

- ✓ 若い世代が市外に出てもまた戻りたいと思える情報発信を
- ✓ 情報を知ってもらうきっかけとしては動画は有効
- ✓ 働く人が実際に動画に出るなど「人」に着目した動画発信は重要
- ✓ ひきこもりの方がSNSを見て行動につながるような福祉的視点も
- ✓ 市のSNSやホームページも改善が必要

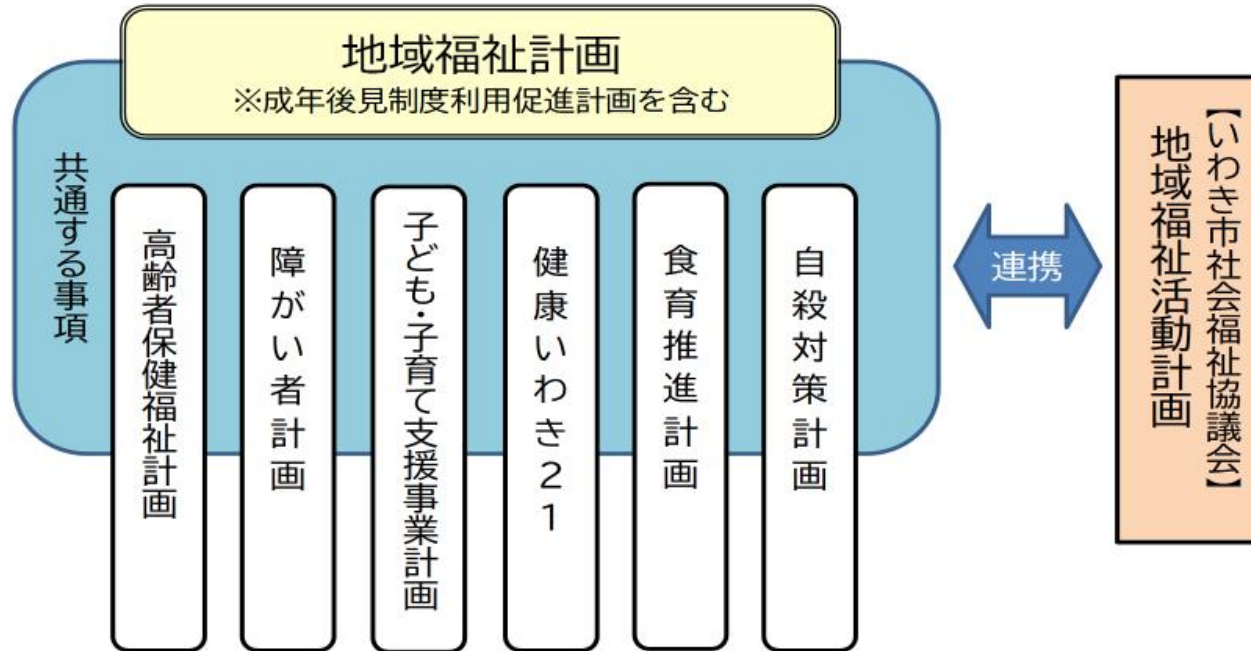
「地域福祉計画」とは？

位置づけ

- ✓社会福祉法第107条に規定する**行政計画**
- ✓「以和貴まちづくり基本条例」の「様々な主体が共に地域の課題解決に取り組む」という理念を基本とした**福祉分野の総合計画(上位計画)**

保健福祉分野に関する個別計画が持つ**個別・専門的な考え方**や**取り組みを総合的に横につなぐ計画**

個別計画との関係



新たな地域福祉計画 ▶ (仮)地域共生ビジョン

新しいビジョンの
策定ポイント

[R8.3.19 / ver.1]

福祉を中心に個別分野の
取り組みの方向性や考え方を
示すものに！

いわき市地域共生ビジョン(案)

ご提案

[いわき市地域福祉計画]

(名称を地域共生ビジョンとしている理由)

これまでの協議において、本市の「地域福祉」や「地域共生社会」の推進に向けた方向性や基本的な考え方、取り組みの方向性などを示すものとする事や、各分野における現状・課題、個別事業の進行管理等については連携する個別計画でカバーしていくものと整理しています。

このため、いわき市の地域福祉計画として位置付けるものの、名称は「地域福祉計画」ではなく「地域共生ビジョン」とします。

市民・事業者等と
共有することを意識した
伝わる・生きるものに！

地域共生社会の実現に
向けた市民1人ひとりの
行動につながるものに！

新たな地域福祉計画 ▶ (仮)地域共生ビジョン

策定体制

いわき市地域共生社会推進会議

ビジョン策定に向けた官民連携での協議
(R7～R8年度)

進行中

地域福祉に関するアンケート調査

R7.5.2～5.22調査実施／WEB調査
回答657件

実施済

パブリックコメント

ビジョン策定に向けた市民意見募集
(R8.12月頃予定)

今後
実施
(予定)

団体・事業者等ヒアリング

ビジョン策定に向けたヒアリング等
(31万人まちづくりビジョンPJとの連携等)

進行中